

平成26年 第3回

京田辺市議会定例会  
一般質問通告書

京田辺市議会

# 平成26年議会通告 第3回例会目次

通告順位	議員名	ページ
1	奥村良太	1
2	河本隆志	2
3	次田典子	4
4	櫻井立志	6
5	岡本亮一	8
6	南部登志子	10
7	青木綱次郎	11
8	小林喜代司	13
9	鈴木康夫	15
10	水野恭子	17
11	上田毅	19
12	米澤修司	20
13	河田美穂	21
14	岡本茂樹	22
15	増富理津子	23
16	塩貝建夫	25

**1 職員教育の再徹底化**

窓口の接遇時の説明を丁寧にするよう市民の方々から声を聞く。また、たらい回しをしないなども改善を。

**2 地域活性化のさらなる前進**

色々なイベントへの協力体制を。

### 1 地域活性化について

- (1) ふるさと納税のPR施策、財源確保の観点からの今後の展望は。
- (2) 全国小学生ハンドボール大会開催日に、市民やまちを巻き込んだ、企画、イベントを実施し、全市でまちを盛り上げる仕掛けを行っては。

### 2 事業仕分けについて

事務事業評価とともに、事業仕分けを行うことで、事業の見直しや評価等、また職員の意識改革、市民への情報提供等の効果が期待できると考えられる。自治体や民間が主体となって行う事業仕分けの実施についての考えは。

### 3 防災・災害対策について

- (1) ハザードマップ改訂の考えは。
- (2) 避難の際の注意喚起の周知徹底をすべきでは。
- (3) 避難所開設時の地域間連携の徹底を。

### 4 地域防災計画について

災害が発生した際に生じる一般廃棄物、災害廃棄物の収集、処理、また、し尿収集及び処理を含め、廃棄物処理計画や廃棄物対策を定めておくことも必要であると考えるが、見解は。

### 5 情報発信について

情報発信のツールとしてSNSは効果があるのでは。

- (1) 市長自らがアカウントを取得し、情報発信しては。
- (2) 京田辺市としてアカウントを取得し、情報発信しては。

## 6 子育て施策について

- (1) 家庭的保育事業の実施は。また今後はどのような施策を考えているのか。
- (2) 休日保育、夜間保育について必要性をどのように考えているのか。

**1 建設経済常任委員会の海外研修に関する監査請求結果を受け、市長の見解を問う**

- (1) 監査結果に監査委員の要望が述べられているが、市長はどのような見解をもっているのか。
- (2) 今回、議会からの監査委員が除斥とされたが、監査請求審査のあり方から考えると好ましくない。外部監査も検討すべきではないのか。
- (3) 9月6・7日に開催される第21回全国市民オンブズマン岩手大会において、重要課題とされた秘密保護法と情報公開、海外研修に関して、市長の考えを問う。

**2 京都府内に公立夜間中学校の設置をすべきだ**

- (1) 8月28日に府教委を訪問し、見解を質問したが、夜間中学校設置は市がすべきことと返答された。市教委の考えはどうか。
- (2) 国の動向を待つだけでなく、現状の把握はすべきだ。
- (3) 不登校児童・生徒の学びの場としての夜間中学校やフリースクールの必要性について。

**3 環境問題**

- (1) 甘南備園のごみ焼却炉建替えに関し、市民を全く無視して枚方市と交渉に入ることは約束違反だ。
- (2) 城南衛生管理組合における不祥事は、組合形成による広域化の弊害と考えるが、市長はどのように考えているのか。
- (3) ごみの減量化も進んでいるので、市単独炉も検討すべきだ。
- (4) ごみ有料化をする前に、焼却炉建替え問題や民間委託を入札変更するなどの取組みを進めるべきだ。

#### 4 諸問題

- (1) 市営墓地の管理について、家族形態の変化に伴い、墓地の継承が困難なケースが増えると考えますが、市はどのように対応するのか。
- (2) 以前、一斉に設置したバスケットゴールの治安問題などのため撤去を求める声があるが、市の対応はどうか。
- (3) 職員の安全のためにもアルコールチェックを運転前に行うべきだ。
- (4) 情報公開制度の見直しと窓口設置場所の検討をすべきだ。

**1 少子高齢化対策について**

- (1) 妊娠するものの流産や死産を繰り返す不育症の女性に対する経済的負担を軽減するために、治療費の一部助成を図る考えは。
- (2) 認知症対策への本市の取組みについて、現状と更なる拡充を求めるが。  
(例えば、認知症サポーター養成講座など)
- (3) 認知症予防・早期発見のため、東京都国分寺市などで導入されている「認知症チェッカー」を本市でも導入しては。

**2 読書活動推進への取組みについて**

近年、生活環境の著しい変化の中で、子どもたちの活字離れ、読書離れが心配されている。過日、文部科学省が公表した全国学力テストの児童生徒アンケートで、スマートフォンや携帯電話の使用時間が増えるほど成績が低下する傾向があることが明らかになった。一方で、新聞や読書といった活字に触れることが多い子どもの方が、平均正答率が高いとの分析である。いま本市あげて、子どもたちの読書環境の整備と活動推進への取組みが求められている。

- (1) 学校、家庭、地域そして市立図書館のそれぞれにおける読書活動推進への取組みを問う。またその連携をどのように図っていくのか。
- (2) 北海道恵庭市が、いつでも・どこでも・誰でもが本と出会えるまちとして取り組んでいる「恵庭まちじゅう図書館」事業を本市でも導入し、本を通じて互いに交流を深め、地域の絆づくりを図ってはどうか。

**3 省エネ・環境対策について**

- (1) 本市は平成26年度において、レアメタルが多く含まれているとされている小型家電のリサイクル推進として使用済み小型電子機器等の回



収を試行的に実施するとしているが、その後の進捗状況を聞く。

- (2) 今夏も35度を超す猛暑が何日も続くという異常気象のなかで、エアコンの設定温度を上げ、できるだけ節電・省エネに取り組む家庭が増えている。そのような家庭の分電盤にセンサーを取り付けるだけで電力使用量が表示される「省エネナビ」を無料で貸し出す制度を導入する考えは。

#### 4 市営大住団地のバリアフリー対策について

高齢者世帯が大半を占める市営大住団地のバリアフリー化を早急に進めるべきと考えるが、以下の整備・改善を求める。

- (1) 各家庭の浴室は据え置き式のユニットバスになっているが、高齢者にとって背の高い浴槽を跨いで入るのは苦痛であり、転ぶ恐れもあり大変危険である。平成30年に予定されている改修計画を前倒しすべきではないか。
- (2) 団地の各棟に入る階段は段差が高く急である。手すりが設置されているものの高齢者や身体の不自由な方達にとっては厳しいものがある。スロープ設置を求めるがどうか。

### 1 消費税増税と市民・中小企業の暮らしと実態について

- (1) 国は消費税増税分すべて社会保障のために使うとされ、4月より消費税率を5%から8%へと引き上げた。増税により市民の暮らしが良くなると考えているのか。また、市民や中小企業に与える影響について、市長の認識を問う。
- (2) 消費税増税は、一部の大企業を優遇し内需を縮小させる政策であり、さらなる経済の悪化を招くことになる。さらに来年10月には消費税10%へと増税されようとしているが、市民の代表である市長が国に対し毅然とした態度で、消費税増税中止の意見表明をすべき。

### 2 留守家庭児童会について

- (1) 長期休暇中の開設時間の延長及び学級中や土曜日の開設時間の延長を。
- (2) 三山木留守家庭児童会専用施設整備事業の進捗状況について、市南部地域の人口増を見据えた定員規模となっているのか。また、新施設整備にあたり、児童の安全対策（防災、防犯、交通安全）を問う。
- (3) 今後、子ども達のためにどのような学童保育施設を建設するのかを話し合う懇談会（保護者・指導員・行政）を開催し、要望も聞いたうえで建設すべきと考えるがどうか。

### 3 通学路の安全対策について

- (1) 同志社山手北バス停前に信号機の設置を。
- (2) 西山神社西側の道路に防犯灯の設置を。
- (3) 南山保育所前では、小学生の登下校時間と保育所の送迎時間が重なるため、児童と車両が接触することが懸念される。市の認識と安全対策を

岡本 亮一

問う。

- (4) 南山児童公園前から南山団地前交差点までのカラー塗装を。また、越前駐車場南東の三叉路に横断歩道と一旦停止表示の設置を。

**1 災害・防災対策について**

- (1) この間、京都府は土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域の指定を行うため、基礎調査を実施し、またその結果等を報告するために住民説明会も開催している。この調査により、本市で指定された土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）はそれぞれ何ヶ所になるのか。また、今後指定される地域は何ヶ所になるのか。地域ごとに具体的に知らせて頂きたい。
- (2) また、土砂災害防止法では指定された警戒区域への府や市町村の対応も定められている。本市としての指定された区域への今後の対応について問う。
- (3) 打田・高船地区については、場合によっては広域避難場所に行けない可能性がある。近隣自治体と連携して他市町へ避難することも想定する必要があると考えるが、市の見解は。
- (4) 普賢寺地区の野神橋の修繕の見通しについて問う。

**2 公共交通について**

普賢寺地域で運行されている公共バスは、その運行時間が住民ニーズと合致していないため、利用される方が少ない。住民の方々が利用しやすいように、公共交通として乗合タクシーを位置付け、運行の導入を図っていくべきと考えるが、市の見解は。

**3 障がいをお持ちの方々が地域で安心して暮らすために**

- (1) 入所・利用できる施設が少ないという実態について、市はどのように認識しているのか。また、その解決策について問う。
- (2) 前回、サポートブックの作成について提案した。ぜひ、本市でも当事者の方々に作成をすすめて頂きたいと考えるが、市の考えは。

### 1 市長は集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求めよ

7月1日、安倍内閣は集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を強行した。日本国憲法の平和主義を踏みにじる閣議決定は撤回すべきと考えるが、市長の見解を問う。

### 2 市民の暮らしを守り支える市政を

給与の減少や年金削減が進む一方で、消費税増税や医療、介護など社会保障分野での負担増が国民に押しつけられ、暮らしの困難と先行き不安は深刻になっている。改めて市民に最も身近な地方自治体である京田辺市政が、市民の暮らしを守り支える役割を果たす事が求められている。そのために、以下の点での市長の認識、見解を問う。

- (1) 市民の暮らしの実態について、市長の認識を問う。
- (2) 国保加入世帯にとって国保税の負担はきわめて重くなっており、国保税の引き下げを求める。
- (3) とりわけ高齢者では暮らしの不安が広がっており、その大きな要因の一つに医療費負担の増大がある。安心して医療を受けられる施策の充実をすすめると共に、京都府へ老人医療助成制度の堅持、拡充を求めよ。
- (4) 市民の税負担を少しでも軽くするために、都市計画税の税率引き下げを求める。

### 3 防災対策について

台風11号接近に伴う大雨では、京田辺市全域に避難情報が発令され150人以上の市民が避難所へ一時避難するなどの事態となった。これらの経験を踏まえ、今後の防災対策の充実に生かすことは重要な課題である。

- (1) 避難情報など、各種の防災情報の住民への周知について、現状と今後

の課題は何か。

(2) 松井地域の水害対策について

ア 吉原川の改修及び防賀川との合流部の改修の早急な実施を求める。

イ 松井相合地域の堤防部分の補強を求める。

#### **4 市民にとって便利で使いやすい公共バスの充実を**

(1) 京田辺市の市民生活を支える上で、公共バス路線が今後、どのような役割を果たすべきと考えているのか、市の見解を明らかにされたい。

(2) 現在の公共バス路線の現状と見直し等について、市の見解を明らかにされたい。

(3) 「交通弱者」と言われる高齢者が、安価で気軽に、「生活の足」として公共バスを利用できるよう、「福祉定期券」を発行すべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

**1 庁舎市民ロビーで茶の無料サービスの継続について**

今年の8月11日～15日の午後に市民ロビーで水出し玉露の無料サービスが実施された。暑い中、市役所を訪れた多くの市民からは非常に好評であり喜ばれていた。玉露でなくても良いので、ぜひ市民サービス・市民へのおもてなしの一つとして、年間を通じて継続してほしいという声が多く出ているが市の考えは。

**2 市の文化財保護に対する方針について**

本市には国宝を始め多くの指定文化財がある。また、市民から提出いただいた多くの民具などが保存されている。文化財担当職員が不足しているという声が多く多くの市民から出ているが市の考えは。

**3 天津神川の整備について**

本市の中心市街地を流れる天井川である天津神川の河川管理者である京都府は、この川を早急に改修・整備が必要な河川に指定している。最近各地で発生している集中豪雨による災害でこの川の早急な整備を要望される市民の声が多く出ている。天津神川の整備について、京都府とどのような計画で進められているのか。

**4 市道新田辺一休ヶ丘線の整備について**

市道新田辺一休ヶ丘線（旧国道307号線）はJR片町線踏切から府道山手幹線までの間は坂道になっており、道路幅も狭小であり、歩道も整備されていない箇所がある。この道路は、JR京田辺駅・近鉄新田辺駅に至る重要な道路であり、歩行者も通行車両も非常に多い。また、みみづく保育園の一

小林 喜代司

休ヶ丘地区への移転に伴い、この道路を通過して送迎される方が増加している。早急に歩道等の整備を要望される声が多く出ているが市の考えは。



### 1 より愛される老人福祉センターに向けて

本市の誇れる施設である老人福祉センターを、より市民に親しまれ愛される施設となることを期待し

- (1) 3年間の来場・利用者の推移（全体来場者数と、浴室、カラオケ、グランドゴルフのオプション施設利用者数）を踏まえ、利用者の広がりと共に固定化・片寄り状況についてどう評価されているか。
- (2) 利用者から、せめて上記オプション施設の利用について、一定の料金を徴収すべきとの声も聞く。市民全体の公平性と受益者負担の観点から前向きに検討すべきと考えるが、市の方針を問う。

### 2 全国小学生ハンドボール大会を大きく育てよう

まちおこしの切り札という声もあるハンドボール大会。この大会が、健全に大きく発展することを期待し

- (1) 昨年度問題提起した、マスコミの活用、おもてなし度のアップなどを含めた本年度大会運営の改善点を問う。
- (2) 完全ボランティアで指導にあられる先生方へ、制度・仕組みとしてバックアップする体制はとれないか。

### 3 将来人口推計値を踏まえた小学校区の将来展望は

平成37年7万6千人をピークとする人口推計が発表された。施設の確保、長期にわたる維持管理、地域社会との関わりといったまちづくりの観点から、小学校区のマスタープランは重要課題である。

- (1) 現行の9学区制度は、堅持されるのか。また、同志社山手、山手西地区の人口増にあわせての区域の見直しについて計画を問う。
- (2) (1)を踏まえ、山手南地区にある小学校予定地の位置づけ、計画を問う。

鈴木 康夫

地元では、有効活用し、住民が集い憩えるスペースへの渴望が強い。

**1 小・中学校図書館の司書配置の拡充を**

- (1) 学校図書館法の改正について、市教育委員会の見解はどうか。
- (2) 司書教諭の専門性の確保と全小・中学校に司書配置を。
- (3) データーベース化の実施を。

**2 「学校給食」こそ「食教育」、安全でおいしい中学校給食を**

昨年度から昼食提供事業が実施され、選択式デリバリー弁当が導入されたが、利用者は少ない。

- (1) 昼食事業をどのように評価しているのか。
- (2) 子どもの食教育を育てるためにも小学校のような給食の実施を。

**3 新田辺西口駅前に時計を**

京田辺市の玄関である、新田辺駅前に時計を設置すべき。高齢者の方などから要求があり、他市から来られた方からも要望が寄せられている。ぜひ、設置をすべき。

**4 桃園小学校の留守家庭児童会の施設の拡充を**

大規模校、桃園小学校の留守家庭児童会は、夏休みは、図書室を利用することで乗り切ったが、今後も利用者が増えることが予想される。子どもたちが安心して、楽しく安全に過ごせるよう、空き地の利用で、施設の拡充をすべき。

**5 名所・旧跡とされている虚空蔵谷・竜王谷。虚空蔵堂で行われる「十三まいり」の伝統行事について保存・継続を**

- (1) 京田辺大百科にも紹介されている虚空蔵谷は、近隣の開発が進む中、崩壊されてきている。市は、名所・旧跡とされている虚空蔵谷の滝や竜王谷の自然を守るべきと考えるが、どのように認識しているのか、また、「十三まいり」は、京田辺市の大切な伝統行事と認識しているが、市の認識はどうか。
- (2) 虚空蔵谷を守るために、谷に通じる歩道の整備をすべき。

**1 教育現場における A E D 講習を導入する事を提案する**

A E D の応急手当の重要性はデータにより明確な数字が出ているのにもかかわらず、本市の実施率が非常に低い状態である。学校において、教員・児童・生徒を対象に、啓発活動を始めるべきと考えるが市の見解は。

**2 幼稚園における保育時間の見直しについて**

養育者の働く立場も考えに入れて、本市の幼稚園の預かり時間の延長が必要であると考えますが市の見解を問う。

**3 高齢者及び障がい者等の方々に対する「手伝い隊」・「見守り隊」の発足を提案する**

人口減が進む地域で社会的課題になっている「買い物難民」の対策として、政府は高齢者の自宅に食材や日用品等を届ける新たな宅配サービスを始めの方針であるが、本市では地域サービスとして、どのような策があるかを「考えていき隊」を立ち上げ、活動を拡大していくべきと考える。本市の考えを問う。

**1 ごみの広域処理について問う**

- (1) 枚方市との可燃ごみの共同処理についての検討状況はどのようになっているか、また市長はいつどのような形で結論を出すのかを問う。
- (2) 地元自治会、区への説明はどのようにされているのかを問う。
- (3) 国の交付金制度も、平成26年4月以降変わったとの説明を受けたが、市長の認識と考えを問う。

**2 友好都市提携について問う**

- (1) 友好都市提携についての取組み状況を問う。
- (2) 友好都市提携締結の具体的な計画を問う。
- (3) 近隣諸国の都市との友好交流、友好都市提携についての市の考えを問う。

**3 京田辺市の将来人口推計について問う**

- (1) 将来人口推計についての市長の認識を問う。
- (2) 今後の市政の課題について問う（高齢者の増加と子育て世代の増加について）。

**4 公共施設等総合管理計画について問う**

- (1) 公共施設等総合管理計画の策定についての市の考えを問う。
- (2) 計画の策定状況について問う。

**1 防災・減災対策について**

- (1) 1泊避難訓練に参加して、早い段階でも「心のケア」をしっかりとっていくべきと考えるがどうか（大学の心理学科などとの連携、心理ケアのエキスパートを市役所に常時置くなど）。
- (2) 1人でも多くの住民が関心を持って防災訓練に参加できるように工夫すべき（競技形式の防災運動会、まもりんピックなど）。
- (3) 防災士の養成を急ぐべき、進捗状況は。

**2 教育問題について**

- (1) 不登校、いじめ対策などを充実すべき。
- (2) 「ポットラック」の場所、開所時間などを充実すべき。
- (3) 不登校児の進路相談などの充実を。

**3 「健康寿命」を延ばす対策をすべき**

- (1) 現役時代から運動習慣をつける取組みをすべき（トレーニンググループのアピール、万歩計、歩きやすい道の地図など配布しては）。
- (2) 食生活の改善として、市役所内のレストランで「健康な食事」の認証マークをつけられるような弁当や定食を提供してはどうか。

**4 地域経済の活性化について**

- (1) 市も「一休バル」のアピールをもっとすべき。
- (2) 商店街で行われている「選挙セール」が、市内にもっと広がるようアピールするなど働きかけてはどうか（地域活性化や投票率アップにもなるのではないか）。

<p><b>1 将来人口維持対策について</b></p>
<p>(1) 将来人口推計と総合計画人口との乖離について、市の見解は。</p> <p>(2) 将来人口の減少がまちづくりに及ぼす影響と対策はどうか。</p> <p>(3) 将来的に人口増を誘導する政策の実施について、市の考えは（子育て支援等福祉施策の充実、鉄軌道駅周辺の良好な宅地開発の推進等）。</p>
<p><b>2 大災害時の市民の緊急避難対策について</b></p>
<p>(1) 緊急時の広報について、より効果的な実施案は。</p> <p>(2) 市民避難場所の周知の徹底についてはどうか。</p> <p>(3) 各地域毎の避難訓練を今後どのように進めていくのか。</p>
<p><b>3 空き家対策の実施について</b></p>
<p>(1) 市の実態把握の状況を問う。</p> <p>(2) 防犯、防災、環境保全等の面で、増加する空き家の大きな課題は何か。</p> <p>(3) 「空き家の適正管理条例」の制定など、課題解決のための具体的な方策について、市の考えは。</p>
<p><b>4 文化振興ビジョンの進捗状況について</b></p>
<p>(1) ビジョンが目指す理念について説明されたい。</p> <p>(2) ビジョン作成の体制と今後の日程は。</p> <p>(3) 平成28年度以降の具体的な実施計画にどのように生かしていくのか。</p>



### 1 子どもの貧困対策について

- (1) 「子どもの貧困対策法」が謳う「地方自治体の責務」を踏まえ、本市における子どもたちの貧困についての認識と本市が早急に着手すべき課題について、市長、教育長の考えを問う。
- (2) 実情に合わせた就学援助の改善を。
- (3) スクールソーシャルワーカー配置の成果と充実について。

### 2 高齢者福祉施策について

- (1) 独居老人や老老世帯に対する行政サービスの充実に向けての市の考えと対策について問う。
- (2) 包括支援センターの役割は重要になってきている。新規計画の中で、充実と増設の計画を。

### 3 市内東部地域の内水氾濫対策について

- (1) 台風による集中豪雨で、各地で水害が起こっている。昨年大雨では防賀川と馬坂川が満水の状況になり、大雨が降るたびに周辺の住民は不安になる。安心安全のまちづくりの観点からも水害対策として、木津川の破堤、越流による外水氾濫とともに、豪雨などによる木津川への排水ができない場合に起こる内水氾濫、特に被害を受けやすい低地においての対策を強化すべきである。市としての考えを問う。
- (2) 神矢樋門の排水ポンプの設置場所、雨量設定と排水能力の拡充と見直しを。

### 4 新田辺駅東地域のまちづくりについて

増富 理津子

- (1) 新田辺踏切から田辺高校までの道路拡幅と東住宅、商店街の道路整備について。
- (2) 駅前広場の整備についての市の認識と今後の見通しについて。

### 1 甘南備園清掃工場建替えについて

去る8月28日、第8回ごみ減量化推進審議会で「ごみ処理施設整備基本構想の策定」について、取りまとめ案が検討された。

- (1) 甘南備園清掃工場建替えについて、単独で行くのか、枚方市との広域処理を進めるのか、その方針を問う。
- (2) 広域化を検討する上での課題について、市の考え方を問う。
  - ア 候補地の選定について
  - イ 分別・収集の取扱いについて
  - ウ 運営形態について
  - エ 広域化の費用負担について
  - オ 府県をまたぐ広域化について
- (3) 今後のスケジュールについて。

### 2 スポーツ施設の安定的利用について

近年、台風や異常気象による豪雨により、木津川河川敷運動公園(2ヶ所)で冠水が常態化している。

- (1) 有料運動公園の冠水による施設使用不可の実態について(期間、復旧費用、利用できる場所の照会等について)。
- (2) 今後の対応について、維持管理面、新たな施設整備等を図り、市民の安定的利用ができるようにすべきと考える。

### 3 教職員の超過勤務是正問題について

OECD参加34ヶ国・地域の「国際教員指導環境調査」結果が公表された。これによると、勤務時間、教員の不足、資料作成事務作業時間、部活動の4項目のいずれもOECD平均の2倍～4倍近くの結果となっている。

塩貝 建夫

- (1) 本市の実態について、本年4～7月までの4ヶ月間の出退勤時間の実態について問う。
- (2) 中学校の部活動、小学校ハンドボールの活動実態について問う。
- (3) 市教委が実施した教職員勤務実態調査結果（平成21年2月）と比較して、改善点、今後の方策について問う。